

小学校版「SOSの受け止め方指導プラン」(小学校低学年)

- 1 ねらい 友達が話しやすい聴き方のポイントを知ることができるようにする。
- 2 準備 ワークシート スライド 電子黒板 パソコン
T 2 (管理職、専門の先生等)との事前打合せ
- 3 展開

過程 (時間)	主な学習活動 ☆児童の反応	指導上の留意点及び支援 指：指示 発：発問
(5分)	<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <p>○児童集会の内容を思い出し、友達の心のモヤモヤをすっきりさせる聴き方について考えることを知る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>・集会のスライドから、「友達の様子がいつもと違うことに気付く」「自分から声を掛ける」ことを確認し、本時の学習の見通しをもつ。</p>	<p>・児童集会のスライドを見ながら、本時のめあてを全員で確認できるようにする。</p> <p>指：「友達の言葉や態度がいつもと違うなと思ったら、自分から声を掛けて話をしてみましょう。」</p> <p>・本時は、友達が「話しやすい聴き方」に重点をおいて話し合うことを伝える。</p> <p>指：「今日は、友達の話を聴く時に、友達が話しやすくしてあげるには、どうしたらよいか考えましょう。」</p>
<p>めあて：友達が話しやすい聴き方を知ろう。</p>		
(10分)	<p>2 友達の心のモヤモヤ(悩み)を聴くときに、大切なことを考える。</p> <p>○友達の心のモヤモヤを聴くときに、「友達が話しにくい聴き方」と「友達が話しやすい聴き方」を考える。</p> <p>・場面絵を見て、「話しにくい聴き方」について気付いたことをワークシートに書く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>☆あくびをしてるから、どうでもよさそう。</p>	<p>・場面絵を使うことで、相手が「話しにくい」と思うような態度や言葉に気付いたり、考えたりできるようにする。</p> <p>・場面絵を提示し、気付いたことをワークシートに書くように伝える。</p> <p>発：「友達の話を聴くときに、相手が話しにくい聴き方で気付いたことを書きましょう。近くの人と一緒に考えてもよいです。」</p> <p>・気付いたことは、ワークシートに書いてよいことを伝える。</p>

☆ため息をついているから、面倒なのかな。
 ☆えらそうに聴いているな。
 ・場面絵や普段の生活から、どんな聴き方だと、友達が話しやすいか考える。
 ☆腕を組んだり、肘をついたりしない。
 ☆つまらなそうに聴かない。
 ☆偉そうに聴かない。
 ☆優しい気持ちで聴く。
 ☆友達の方を向いて聴く。

・児童の考えを補足しながら板書することで、「話しにくい聴き方」について理解できるようにする。
発：「友達が話をしやすいのは、どんな聴き方をしてあげればよいでしょうか？」
 ・ワークシートに書く時に、近くの友達と相談しながら書いてもよいことを伝える。
 ・出された考えを黒板に整理しながら板書することで、「友達が話しにくい聴き方」と「友達が話しやすい聴き方」の対比ができるようにする。
 ・児童の考えを称賛し、出された考えをまとめることで、「相談の受け止めさん」につながるようにする。

(5分)

3 「相談の受け止めさん」について知る。
 ○友達の心のモヤモヤを聴くときのポイントを確認する。
 ・黒板に掲示されたプレートやワークシートにあるイラストを見て確認をする。

・相手が話しやすくするためのポイントを伝える。
指：「友達が話しやすい聴き方ができると、みんなが安心して相談をすることができます。普段から意識できるとよいなというポイントがあります。」

「相談の受け止めさん」

- ①声を掛けて
- ②顔を見てうなずきながら
- ③最後まで聴く

(15分)



☆こうやるといいんだな。
 ☆いつも、あんまりできていないかもしれないな。
 ☆これから使ってみよう。

補助説明：「話を聴く時に、大切にしたいことが3つあります。友達の様子がいつもと違うなと思ったら、まず、自分から声を掛けましょう。そして、話をするときには、相手の顔を見て、うなずきながら、最後まで聴きましょう。一緒に考えることもできるとよいですね。」

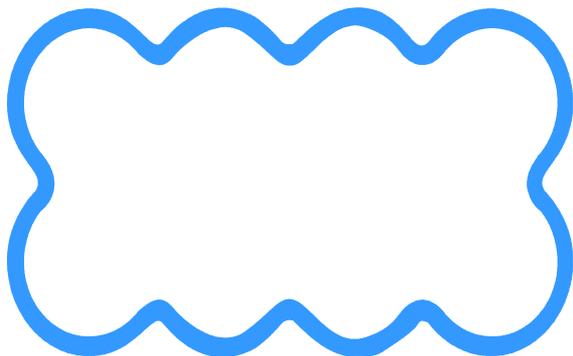
	<p>4 友達の心のモヤモヤの聴き方を練習する。</p> <p>○具体的な場面を使って、友達が話しやすい聴き方の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の立場を決めて、座席の隣同士や、グループで行う。 ・「相談の受け止めさん」を確認しながら練習をする。 <p>○T2の話を読み、話の聴き方で大切なことについて理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達のことを考えて話が聴けるといいんだな。 ・友達の心のモヤモヤがすっきりするといいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「相談の受け止めさん」を使って、心のモヤモヤを受け止める聴き方の練習をさせる。 <p>指：「相談の受け止めさんを使って、友達の心のモヤモヤをすっきりさせる聴き方の練習をしてみましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「相談の受け止めさん」を意識して練習をするよう声を掛け、繰り返し行えるようにすることを伝える。 ・T2から「聴き方」に関する話をしてもらうことで、一人一人が自分の考えをもてるようにする。 <p>※話の主な内容として、 「友達の話を最後まできちんと聴く」 「相談をされて困った時は、先生に伝えてみる」等を話してもらう。</p>
(10分)	<p>5 授業内容の振り返りをする。</p> <p>○集会で使用したスライドを見ながら、本時の学習内容のまとめをする。</p> <div data-bbox="360 1247 820 1402" style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p>○本時の感想を書く。</p> <p>☆モヤモヤした気持ちでいる友達に声を掛けよう。</p> <p>☆「相談の受け止めさん」を使って話を聴いてみたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時で確認されたキーワードを振り返り返すことで、自分から声を掛けることができるようにする。 <p>指：「受け止めさんのことを頭に入れて、使ってみて、友達も自分も安心して毎日生活できるとよいですね。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習の自己評価をさせ、分かったことやこれからできそうなことについて感想を書くように伝える。 ・時間があれば、感想を発表させる。

ともだちが、はなしやすいきき方をやってみよう!

年 組 番 名前()

☆ともだちの「心のモヤモヤ」をきくときに、「はなしづらいきき方」と「はなしやすいきき方」をかいてみましょう。

○ともだちが、
はなしにくいきき方



○ともだちが、
はなしやすいきき方



☆今日のじゅぎょうの、かんそうをかきましょう。

☆ともだちが、はなしやすいきき方がわかりましたか?
じぶんの気持ちのちかいところに○をつけましょう。



とてもわかった

あまりわからない

【こころのモヤモヤ】

- * なかよしの友達ともだちからかりたけしゴムが、われてしまった。
- * あやまってゆるしてくれたけど、まだおこっている気がする。
- * だから、なんだか、こえをかけづらい…。モヤモヤ…。

☆「相談そうだんの受け止めさんうけとめさん」をつかって、友達ともだちの心こころのモヤモヤをききましょう。

【れんしゅうをしてみましよう】

自分じぶん：「〇〇くん(ちゃん)元気げんきがないね。なにかあったの？」

友達ともだち：「うん…。ちょっとね…。きいてくれる？」

自分：「いいよ！はなしてみて。」

友達：「きのう、友達ともだちにけしゴムをかりたんだけど、字じをけしているときに、わっちゃって…。」

自分：「うん、うん。」

友達：「すぐにあやまって、ゆるしてくれたんだけどね…。まだおこってるような気きがする…。」

自分：「そっかあ。おこってる気きがするんだね。
それで、〇〇くん(ちゃん)はどうしたいの？」

友達：「またいっしょにあそびたいんだけど…。」

自分：「そうだよね。なかよしだもんね。」

友達：「ありがとう、はなしをきいてくれて。
ちょっとすっきりしたよ。」



自分：「こちらこそはなしてくれてありがとう。またはなしてね。」

友達：「うん、ありがとう！」

☆おしまい☆